

## 入退院調整ルールに係るケアマネアンケート 集計結果

令和元年11月実施

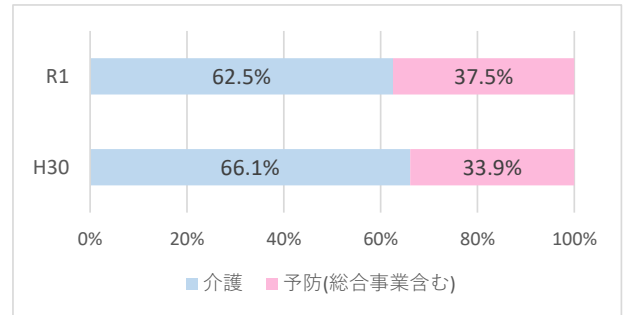
### ○アンケート回収状況

|            | 令和元年度 | 平成30年度 |
|------------|-------|--------|
| 配布事業所数〔機関〕 | 56    | 53     |
| 回答事業所数〔機関〕 | 37    | 41     |
| 回答ケアマネ数〔人〕 | 108   | 115    |
| 回収率        | 66.1% | 77.4%  |

### 【問1】担当している全ケースの件数

〔件〕

|            | 令和元年度 | 平成30年度 |
|------------|-------|--------|
| 介護         | 1,685 | 1,899  |
| 予防(総合事業含む) | 1,009 | 974    |
| 計          | 2,694 | 2,873  |



### ○ケアマネ1人当たりの平均担当数

〔人〕

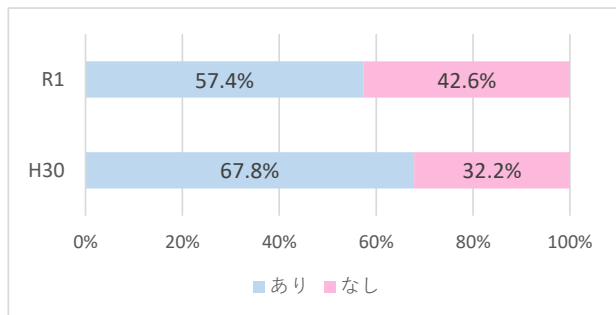
| 令和元年度 | 平成30年度 |
|-------|--------|
| 25.02 | 24.98  |

## ≪入院時について≫

### 【問2】令和元年11月中に医療機関へ入院したケースの有無

〔人〕

|    | 令和元年度 | 平成30年度 |
|----|-------|--------|
| あり | 62    | 78     |
| なし | 46    | 37     |
| 計  | 108   | 115    |

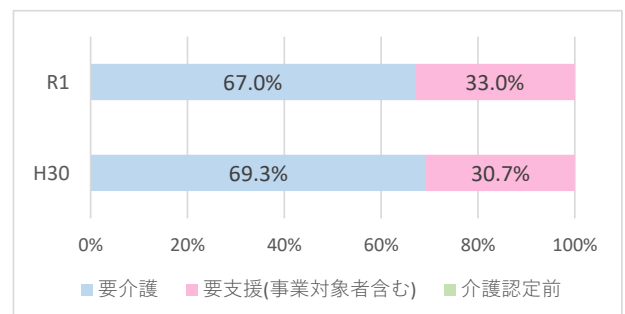


## 入院ケースありの場合について

### (1) 入院ケースありの介護区分

〔件〕

|              | 令和元年度 | 平成30年度 |
|--------------|-------|--------|
| 要介護          | 73    | 88     |
| 要支援(事業対象者含む) | 36    | 39     |
| 介護認定前        | 0     | 0      |
| 計            | 109   | 127    |

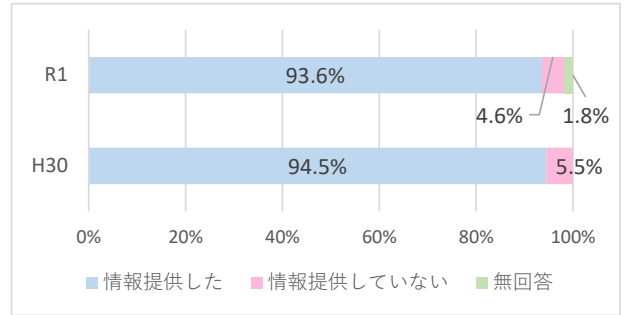


## (2) ケアマネから医療機関へ入院時の情報提供

〔件〕

|           | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-----------|-------|--------|
| 情報提供した    | 102   | 120    |
| 情報提供していない | 5     | 7      |
| 無回答       | 2     | 0      |
| 計         | 109   | 127    |

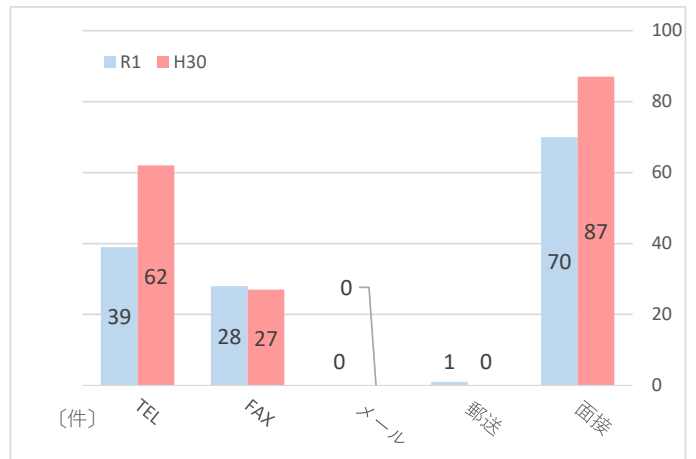
・うち西諸管外へ入院したケース7件中5件は情報提供している



## (3) ケアマネから医療機関への入院時情報提供方法 ※複数回答可

〔件〕

|     | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-----|-------|--------|
| TEL | 39    | 62     |
| FAX | 28    | 27     |
| メール | 0     | 0      |
| 郵送  | 1     | 0      |
| 面接  | 70    | 87     |
| 計   | 138   | 176    |

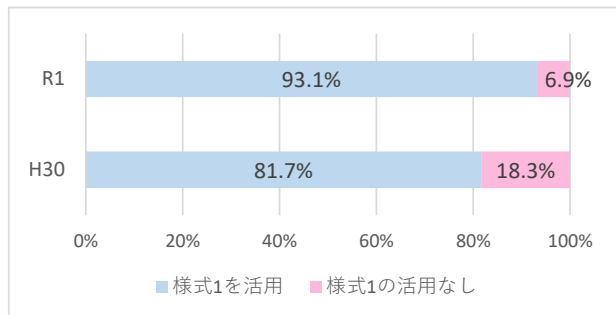


## (4) ケアマネから医療機関への連絡時、様式1（入院時情報提供書）の活用状況

〔件〕

|          | 令和元年度 | 平成30年度 |
|----------|-------|--------|
| 様式1を活用   | 95    | 98     |
| 様式1の活用なし | 7     | 22     |
| 計        | 102   | 120    |

・うち西諸管外へ入院したケース7件中5件は様式1の活用あり

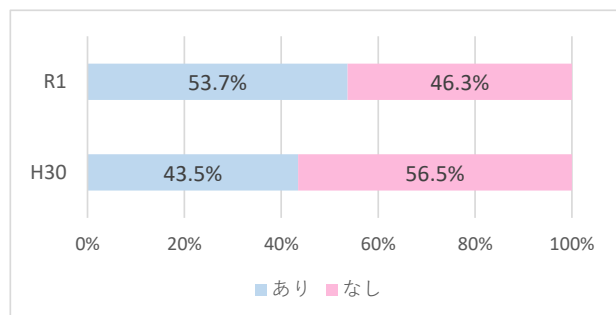


## 《退院時について》

### 【問3】令和元年11月中に医療機関から退院したケースの有無

〔人〕

|    | 令和元年度 | 平成30年度 |
|----|-------|--------|
| あり | 58    | 50     |
| なし | 50    | 65     |
| 計  | 108   | 115    |

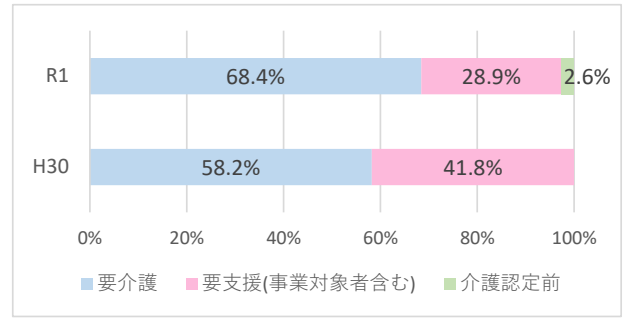


## 退院ケースありの場合について

### (1) 退院ケースありの介護区分

〔件〕

|              | 令和元年度 | 平成30年度 |
|--------------|-------|--------|
| 要介護          | 52    | 39     |
| 要支援(事業対象者含む) | 22    | 28     |
| 介護認定前        | 2     | 0      |
| 計            | 76    | 67     |

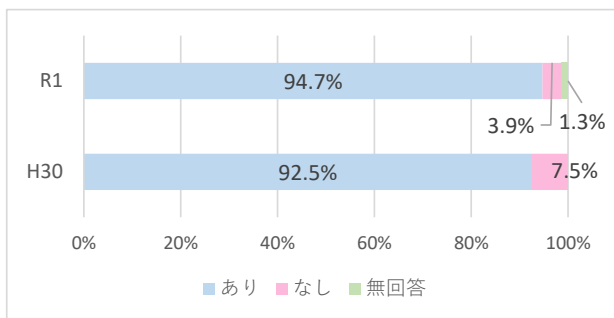


### (2) 医療機関からケアマネへ退院調整の連絡

〔件〕

|     | 令和元年度 | 平成30年度 |
|-----|-------|--------|
| あり  | 72    | 62     |
| なし  | 3     | 5      |
| 無回答 | 1     | 0      |
| 計   | 76    | 67     |

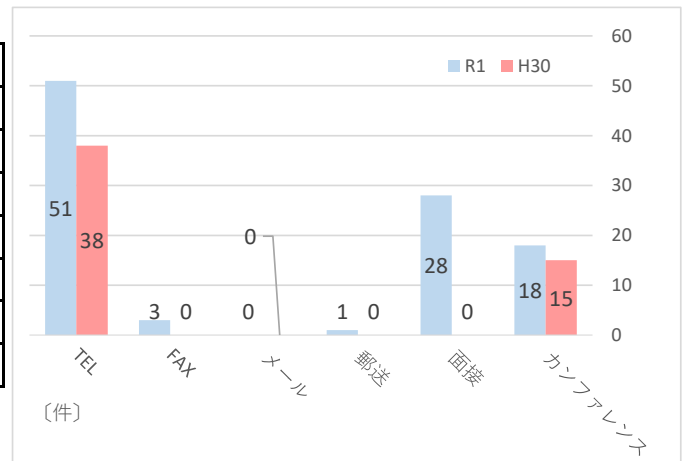
・うち西諸管外へ退院したケース7件中7件連絡あり



### (3) 医療機関からケアマネへの退院調整方法 ※複数回答可

〔件〕

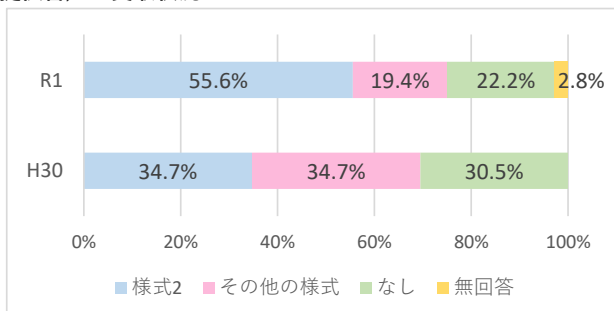
|         | 令和元年度 | 平成30年度 |
|---------|-------|--------|
| TEL     | 51    | 38     |
| FAX     | 3     | —      |
| メール     | 0     | —      |
| 郵送      | 1     | —      |
| 面接      | 28    | —      |
| カンファレンス | 18    | 15     |
| 計       | 101   | 53     |



### (4) 医療機関からケアマネへの連絡時、様式2（退院時情報提供書）の受取状況

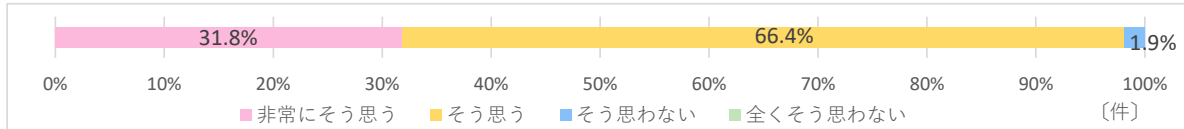
〔件〕

|        | 令和元年度 | 平成30年度 |
|--------|-------|--------|
| 様式2    | 40    | 33     |
| その他の様式 | 14    | 21     |
| なし     | 16    | 8      |
| 無回答    | 2     | 0      |
| 計      | 72    | 62     |

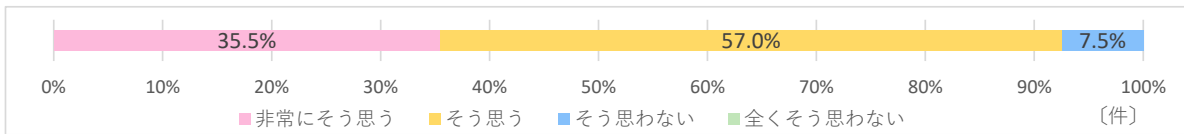


## 【問4】入退院支援等について

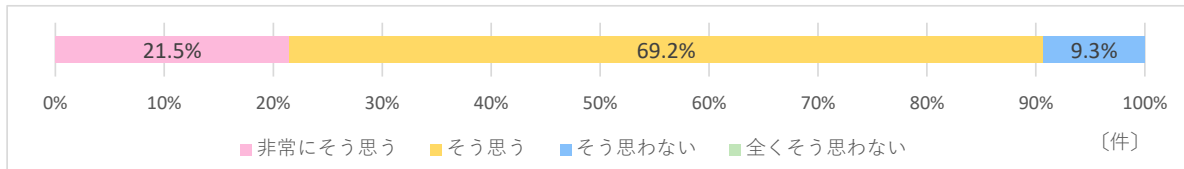
① 介護保険を利用している利用者が入院した場合、医療機関と早い段階で情報共有ができています。



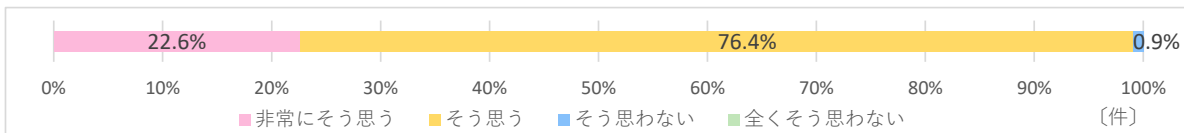
② 利用者が入院したら、すみやかに入院時情報提供書（様式1）等の提出ができています。



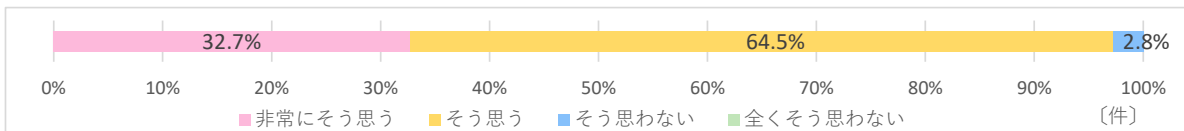
③ 入院中は医療機関と連絡を取り合い、退院調整のためのカンファレンスに参加するなどして退院後に必要な支援等について情報共有ができています。



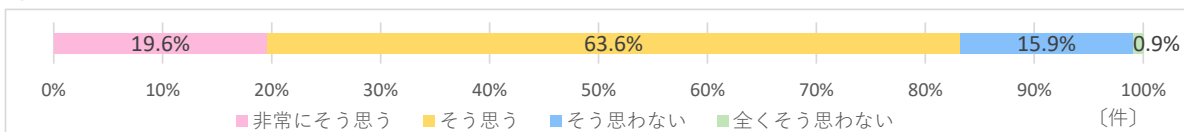
④ 医療機関から相談があったら、必要に応じて本人・家族及び医療機関と情報共有し、円滑に在宅生活等へ移行するために必要な支援を行うことができています。



⑤ あらかじめ入院期間を把握していた場合は、医療機関に退院日の確認を行っている。

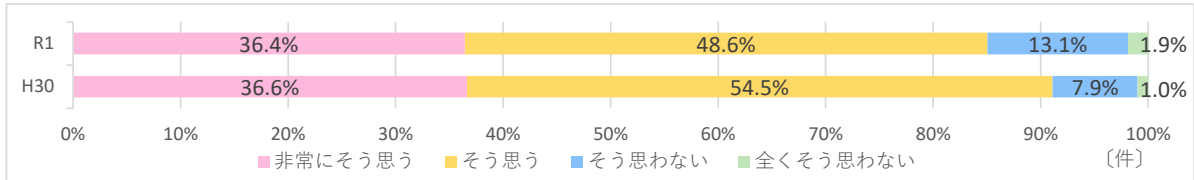


⑥ 退院時に医療機関からの情報は十分であった。

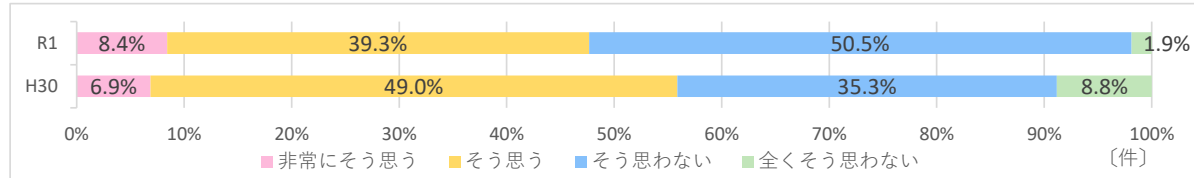


## 【問5】「にしろ入退院調整ルールブック」について

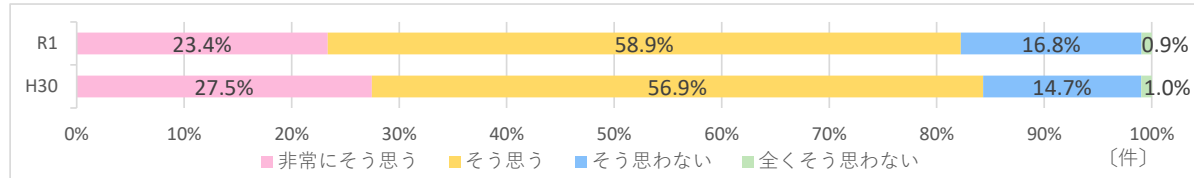
① 「にしろ入退院調整ルールブック」が勤務している事業所内で周知されている。



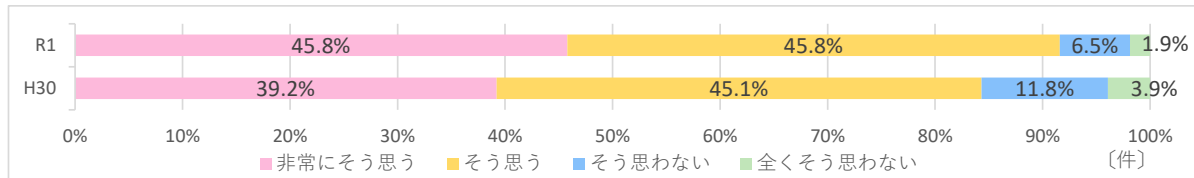
② 介護保険証やお薬手帳に名刺をつけるなど、医療機関担当者に担当であることを認識してもらう工夫ができています。



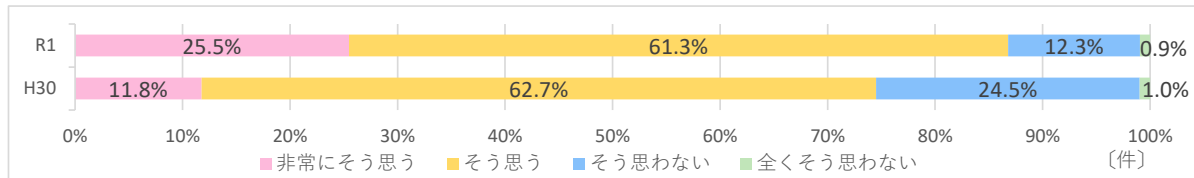
③ 「(P9~P12) 医療機関窓口一覧表」を活用している。



④ 「(P23) 入院時情報提供書」を活用している。



⑤ 「にしろ入退院調整ルールブック」策定後、医療機関との連携がスムーズになった。



## 【問6】 事業所

### 『良かった点など』

- ・入院、退院ともに病院から連絡がもらえるようになった。
- ・医療機関が入院、退院時の連絡を速やかにしてくれるようになった。
- ・連携は年々取りやすくなっている。
- ・入退院情報提供書は改定されて使いやすくなった。
- ・内容をあれこれ考える必要がなく、シンプルに情報共有できるので便利。
- ・退院時情報提供書をもらう事で入院中の詳細が分かるので助かる。  
(各事業所と情報共有し退院後の支援がしやすい)
- ・にしもろ入退院調整ルールブックは活用できており、情報共有出来ている。
- ・共通の様式を使用することにより、個別でより知り得たい情報が明確になり情報収集しやすくなった。
- ・必要な情報を一枚の紙で見ることができるので良い。(手書きでも記入している)
- ・用紙が統一されて入院してすぐに提出できるようになった。
- ・入院時情報提供書が入力しやすくなり、時間短縮につながった。
- ・「ADL等の状態」で特記する部分が拡がるので書きやすい。
- ・窓口一覧表を活用する事が多く、役立っている。
- ・ルールブックを見て活用して対応する事でスムーズに連携が取れるのではないかと思う。

### 『改善が必要な点など』

- ・介護保険証に名刺をつけたが途中で外れたり更新時に外したままになってしまう。  
(透明のケース(介護保険証入れ)があれば名刺がなくなることも少なくなるのではないか)
- ・保険証、お薬手帳の共通カバーがあると見落としがなく、医療機関に伝わりやすい。
- ・入退院情報提供書の文字がもう少し大きくなると見やすい。
- ・入院時情報提供書がエクセル形式なので入力をしやすくして欲しい。
- ・入院前の状況を伝えにくい所がある。(別に経過記載した物を提出している。)
- ・現在の情報提供書ではカバーできない情報もあるのでバージョンアップも必要。
- ・入院時や退院時に身長、体重の記載がない。
- ・氏名のふりがなの入力がしにくい。
- ・入退院情報提供書の特記事項の記入欄を大きくして欲しい。
- ・様式の上に○をつけているが、印刷する時にずれてしまうので確認が必要。
- ・入院時に情報を持っており、事前に連携室に連絡していたが病棟には伝わっていなかった。  
(病名や入院期間などの情報を得ることができなかった)
- ・医療機関によっては入院、退院の連絡もサマリーもない所がある。
- ・入院日に用紙(サマリー)が欲しいとの申し出の病院が多く、入院が決まったら直ぐ作成しないといけない。
- ・「にしもろ入退院調整ルールブック」を活用されていない病院もあり、退院後のサマリー等がなかった。